

第 1 学 年
学年だより
1 2 月 号



令和 7 年 1 1 月 2 8 日
目 黒 区 立 東 根 小 学 校
校 長 高 鍋 恭 子
第 1 学 年 担 任

いよいよ展覧会！

先日の学校公開には、多くの方にご参観いただきありがとうございました。子どもたちも、張り切って授業を受けていました。今月は展覧会があります。子どもたちは展覧会に向けて、発想を広げ、試行錯誤しながら作品を作ってきました。保護者の皆様には、制作にあたって材料や道具の準備にご協力いただきありがとうございます。展覧会では、お子様の作品はもちろん、他の学年の作品もあわせて、ぜひご覧ください。

日に日に寒さが増していますが、子どもたちは元気いっぱいです。入学当初に比べると体力も付き、できるようになったことも増えました。一人ひとりの成長を頼もしく思います。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

1 2 月の行事予定

月	火	水	木	金	土
1 ⑤ 昼会	2 ⑤ なかよしタイム	3 ⑤ いきいきタイム	4 ⑤ 展覧会	5 ⑤ 展覧会	6 ⑤ 展覧会
8 振替休業日	9 ⑤ 昼会	10 ④ 4時間時程 読み聞かせ	11 ⑤ 個人面談4	12 ⑤ いきいきタイム 個人面談5	13
15 ⑤ 昼会	16 ⑤	17 ⑤ いきいきタイム	18 ⑤ 食育の日 児童集会 避難訓練	19 ⑤ いきいきタイム	20
22 ⑤ 昼会	23 ⑤	24 ⑤ いきいきタイム	25 ⑤ 給食 (終) 安全指導 冬休み前指導	26	27
1 / 5	6	7 冬季休業日 終	8 ④ 4時間時程 長期休業明け指導 安全指導 一斉オンライン体験	9 ⑤ 給食 (始)	10

☆ 日にち横の○数字は、授業時数です。

☆ 11日、12日は個人面談のため、普段と下校時刻が異なります。ご確認ください。

12月の学習予定

国 語	たぬきの糸車 日づけとよう日 てがみでしらせよう おかゆのおなべ かん字 他
算 数	くらべてみよう
生 活	いっしょにあそぼう じぶんでできることをしよう
音 楽	ようすをおもいうかべよう
図 工	わくわくおはなしすごろく 他
体 育	鉄棒を使った運動遊び なわとび ボール投げゲーム
道 徳	親切、思いやり 礼儀 規則の尊重

〇●〇お知らせ・お願い〇●〇

1 展覧会について

12月4日（木）～6日（土）に展覧会があります。詳細は、先日配布しております、展覧会のお知らせをご覧ください。

2 国語の学習について

国語「てがみでしらせよう」の学習では、自分の成長をはがきに書いて実際に郵送する活動を行います。はがきは学校で用意し、文章を書きます。遠くに住んでいるおじいちゃん、おばあちゃん、保育園や幼稚園の先生など、誰に書くか子どもたち自身が決めます。おうちで相談に乗ってあげてください。

授業後、はがきを持ち帰りますので、ご家庭で切手の貼り付け、住所の記入をしていただき、ポストへの投函をお願いします。なお、冬休み中などに直接お会いできる場合は、手渡しで渡していただいても構いません。ご協力をお願いします。

3 書き初め（硬筆）について

国語で書き初めに取り組みます。お手本、用紙代はお預かりしている教材費から支払います。「書き方鉛筆」で書きます。濃い鉛筆を使うと、芯が柔らかく、書きやすいです。4月から使用しているものが短くなり、現在筆箱に入っていない場合は、準備をお願いします。（書き方鉛筆の濃さは、4B～6Bのものをご用意ください）

1月には、学級ごとに書き初めを行います。（12月の授業で練習したあと、冬休みの課題として持ち帰らせま

す。）校内書写展については、別途お知らせします。



冬休みの過ごし方や宿題等については、「学年だより冬休み号」でお伝えします。

道徳通信の取組にご協力いただきありがとうございました！！

道徳の授業だけでなく、他教科の授業、休み時間、放課後の時間、ご家庭で過ごす時間など、道徳の授業で学んだことを様々な場面で考えることによって、道徳心は育まれていきます。道徳の授業でどのようなことを話したり考えたりしたのか、ご家庭でも話題にしていいただけると幸いです。

皆様からいただいたコメントを紹介させていただきます。引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

すぐに相手を苦手だと決めつけるのではなく、話してみたら好きになったり仲良くなったりすることもあると話しました。	誰とでも同じように接するのは「思いやり」であり、いつか自分にも返ってくるものだという話をしました。	「自分がどのように人と接しているか、他の人は見ているよ」という話をしました。第三者の視点について知るきっかけになったかと思います。	もし自分がその場面になったら、自分から「一緒にみんなで遊ぼう」と声をかけたいと言っていました。
されて嫌なことはしないという話を話し合ったところ、本人も納得していました。	子ども自身の実体験と重ねながら、仲間外れにしないで解決する方法を一緒に考えました。	それぞれ色々な感情があるけれど、話し合うことがとても大切だね、という話をしました。	相手の気持ちを考えることの大切さを学んだようでした。